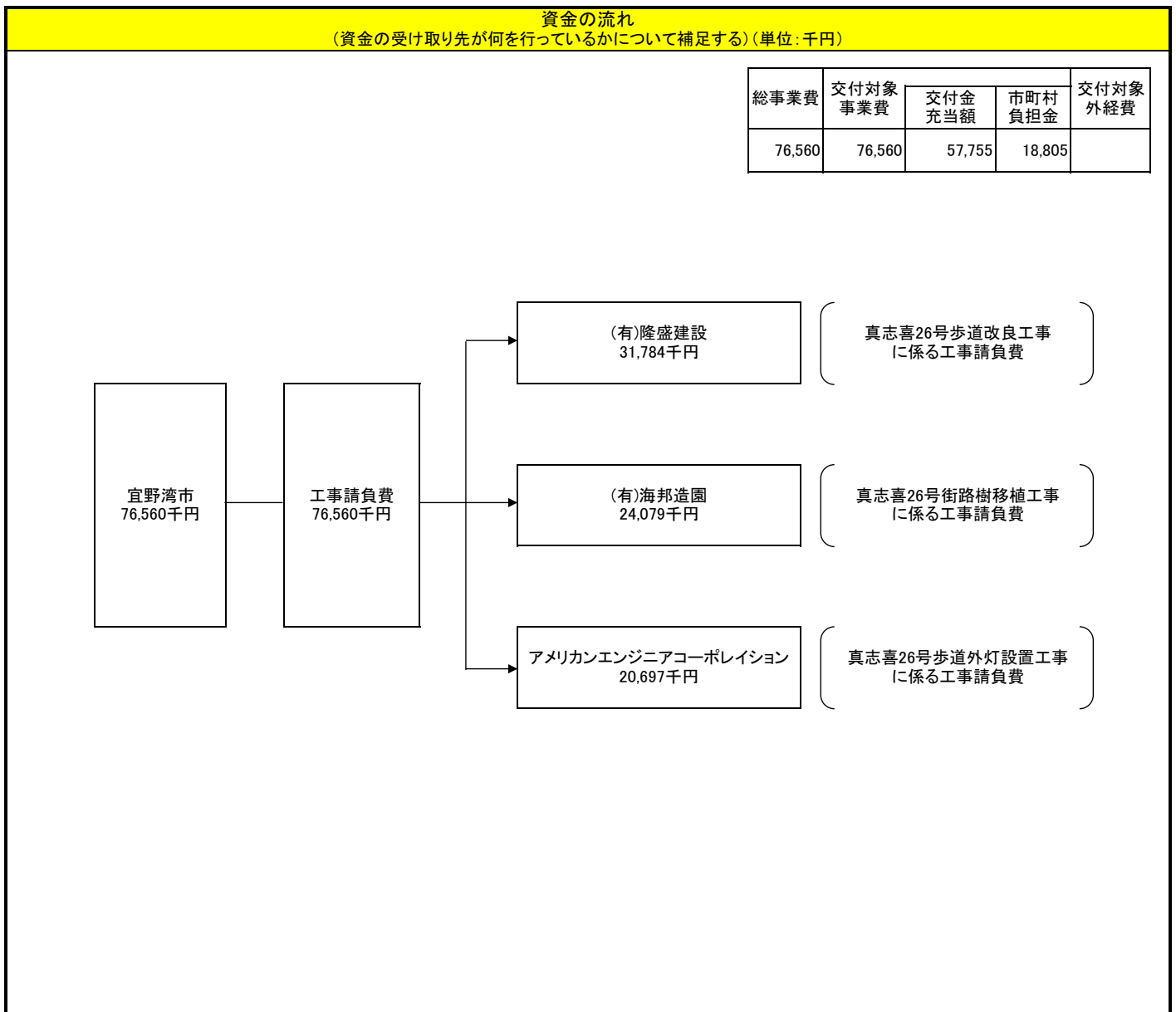


市町村名		宜野湾市				
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-①	道路景観整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	建設部 土木課	事業実施(予定)年度	H24~H30		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)
事業内容	はごろも祭りやプロ野球キャンプ・コンサートなど各種イベント行事が行われるコンベンションエリア(市立野球場や野外劇場・ビーチがある海浜公園や沖縄コンベンションセンター・ホテルなど)と国道58号を接続する市道を、良好な景観形成を目的として、歩道改良、街路樹移植、歩道外灯整備をする。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(H31年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	35,770	76,560	-	
	(b)予算現額	36,231	76,560	-		
	(c)増減額(b-a)	461	0	-	0	0
	(d)繰越額	-	0	34,329		
	A.計(b+d)	36,231	76,560	34,329	0	0
	B.執行済額	36,028	42,231	34,329		
	うち交付金充当額	28,823	31,673	26,082		
	次年度繰越額	0	34,329	0		
	執行率(%) (B/A)	99.4%	55.2%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	道路景観整備に係る歩道塗装の色等に係る調整に不足の日数を要したため、工事のすべてを完了することが出来ず、請負工事費の一部34,329千円を繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	真志喜9号の工事完了	目標	( 1路線 0.1km )	( )	( )	( )
		実績	1路線 0.11km			
真志喜26号の設計・工事	目標	( 1路線 実施設計 )	( 1路線 0.5km )	( )	( )	
	実績	1路線 実施設計の完了	1路線 0.26km			
達成状況説明	平成28年度に真志喜9号の歩道改良工事・街路樹移植工事・外灯設置工事を行った。 また、平成28年度に真志喜26号歩道改良実施設計業務を完了し、平成29年度において、真志喜26号歩道改良工事L=260m(両側歩道)、街路樹移植工事81本、外灯設置工事13基を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R1年度)
		目標	( )	( 1路線 0.11km )	( 1路線 0.5km )	( )
	実績		1路線 0.11km 設計一式	1路線 0.26km		
	【R1成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたかを含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( )	( )
実績						
進捗状況説明	下記に記載のとおり各種工事を実施し、コンベンションエリアへ接続する市道真志喜26号を整備したことによって、市に訪れる一般観光客へ良好な景観を提供し、魅力的な観光地としての景観形成を図ることが出来た。なお、本事業の成果目標は、観光満足度調査における景観に対する評価等を設定すべきだが、整備中であり検証が困難なため、本年度の成果目標としては、定性的な指標を設定した。 ①歩道改良工事・・・景観性および路面温度上昇を抑制し環境にも配慮出来るカラー舗装の整備を0.26km行い、次年度は残り0.62km行う。 ②街路樹移植工事・・・景観性および利便性の向上を図るため、高木を一定間隔で配置する。81本移植、植栽プランター48個設置し、次年度は95本移植を行う。 ③外灯設置工事・・・景観性および公共的目的をもって表示する広告のぼりが設置できる外灯の取替工事を13基行い、次年度は残り29基取替えを行う。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	H29年度の完了箇所においては一部の整備であり、事業に対する評価が困難なため、H30年度の全区域工事の完了後、観光満足度調査を行っていく。また、満足度を調査する前段階において、事業効果が紹介できるよう、下記の事前調査および検討が必要である。	①歩道改良工事…カラー舗装において、舗装前と舗装後の温度上昇抑制効果を具体的に調査する。 ②街路樹移植工事…プランター設置に伴い、地域住民を巻き込んだ苗植え緑化イベントを行う。 ③外灯設置工事…外灯にのぼりを設置した際の景観との調和について、歩道カラーとのバランスを考慮したのぼりの配色イメージ検討を行う。
	①歩道改良工事…路面温度上昇を抑えるカラー舗装において、舗装前と舗装後の温度上昇抑制効果を具体的に把握する必要がある。 ②街路樹移植工事…プランター設置に伴い今後は、地域住民を巻き込んだ緑化イベントを行い、継続して景観緑化を促せることが出来るような取組が必要である。 ③外灯設置工事…外灯にのぼりを設置した際の景観との調和について、検討が必要である。	
今後の取り組み方針		
①歩道改良工事…カラー舗装において、舗装前と舗装後の温度上昇抑制効果事例を紹介した満足度調査を実施する。 ②街路樹移植工事…プランター設置に伴い、地域住民を巻き込んだ苗植え緑化イベントの事例を紹介した満足度調査を実施する。 ③外灯設置工事…外灯にのぼりを設置したイベントの活用事例を紹介した満足度調査を実施する。また、景観に考慮したのぼりの配色を推進していく。		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	■業者選定においては、指名審査委員会にて選定承認を受けており、妥当と考える。 ■予算規模については、事業内容に見合った規模で確保されており、妥当であった。 ■費目・用途については、事業目的の観点から必要なものと判断しており、適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	